



今年も清明祭の季節になりました。まだまだ新型コロナウィルスが蔓延し、密を避けた形になる事と思いますが、どの様な形であれ、ウヤファウジを想う気持ちを忘れずに継続する事が大切ですね。

補陀落建立

良啓

昨年より工事を進めて参りました墓苑「補陀落（ポータラカ）」が無事に竣工し、晴れて四月三日にオープン致します。

宜野湾初となる管理型墓地として、地元でお墓探しに困っている方の一助になればと思います。今回の墓は、室内型が大きな特徴です。実際に墓を持っていく方からの聞き取りで、「墓の管理が大変」と言う声がとても大きかったと感じました。雑草除去、悪路、路上駐車問題、トイレ探しなど様々ですが、これら諸問題の一つの解決策になり得ると確信しています。

また、国内初（良啓調べ）、最大級（二百五十㎡）のヤチムン製観音像も目玉の一つです。今回、墓苑を開くに当たり、本尊様を屋外にお迎えしたいと考え、初めは大理石を検討しましたが、沖繩のお寺として、「沖繩」にこだわった結果、「ヤチムン」が心に浮かび上がりました。そこで協力頂ける工房を探したところ、やちむん家の新垣光雄先生とご縁を結ぶことが出来ました。先生は、京都清水寺にヤチムンの龍を奉納されていて、非常にご活躍をされている方です。工房に足を運び、お寺の歴史や私の想いを伝え、現場にも来られて、土地のエネルギーを感じて頂きました。観音様は、先生の人柄が表れた柔和なご尊顔、流れるような衣紋など、素晴らしい御姿です。どなた様でもご参拝可能ですので、是非、補陀落へ足を運ばれて下さい。

最後に、この墓苑を建立するまでに、本当に多くの方にご協力頂きました。チーム補陀落に深く深く感謝申し上げます。

補陀落オープン

四月三日 十四時〜



花まつり

寺務員 新垣 ひな子

「花まつり」という行事の名前を知っていても、その日何をするのかまでは知らなかった私ですが、お寺で働き始めて知ることができました。多くの方に「花まつり」を知って頂けると嬉しいです。

4月8日の花まつりは、仏教の開祖であるお釈迦様の誕生を祝う日です。

クリスマスはキリスト教の開祖であるイエス・キリストの誕生を祝う日で、その日は家族や恋人とケーキやチキンを食べたり、プレゼントを交換したりすると思います。では、お釈迦様の誕生を祝う日は何をするのでしょうか。

お寺には、お釈迦様が産まれた場所であるルンビニ花園を表した花御堂（はなみどう）が置かれ、その中にはお釈迦さまと白い象がいらつやいます。お釈迦様の足元には甘茶があり、それをお釈迦様の頭にかけてみます。花まつりは別名「灌仏会」と言い、「灌」は頭上に水を注ぐことを言います。甘茶をかけるのは、「お釈迦様が生まれた時に、天から甘露が降った」という故事に由来しています。甘茶を飲むのは、「誕生仏にかけける甘茶を飲むことにより、ご利益を頂く」そうです。残念ながら、今年には神宮寺では甘茶を配布していませんが、甘茶がけを体験することはできるので、家族や恋人、お友達と一緒ににお寺に立ち寄って、ご利益を頂いてください😊

誰もが一度は聞いたことのあるお釈迦様のお言葉「天上天下唯我独尊」。その意味は、「世界にいる人々は誰にも代わるることのできない人間として生まれており、一人一人が尊い存在である」（引用 日本文化研究ブログ）ということを表しているそうです。とても深いお言葉ですね。神宮寺では「LGBTQ+フレンドリー」を掲げています。性別関係なく、自分は自分として生きる方々、とてもカッコイイです！

私もそんなカッコイイ人になりたいなあ…

今年の花まつり期間 四月一日〜八日

